

2022年6月10日 大阪市市民局「報告会」プレゼン



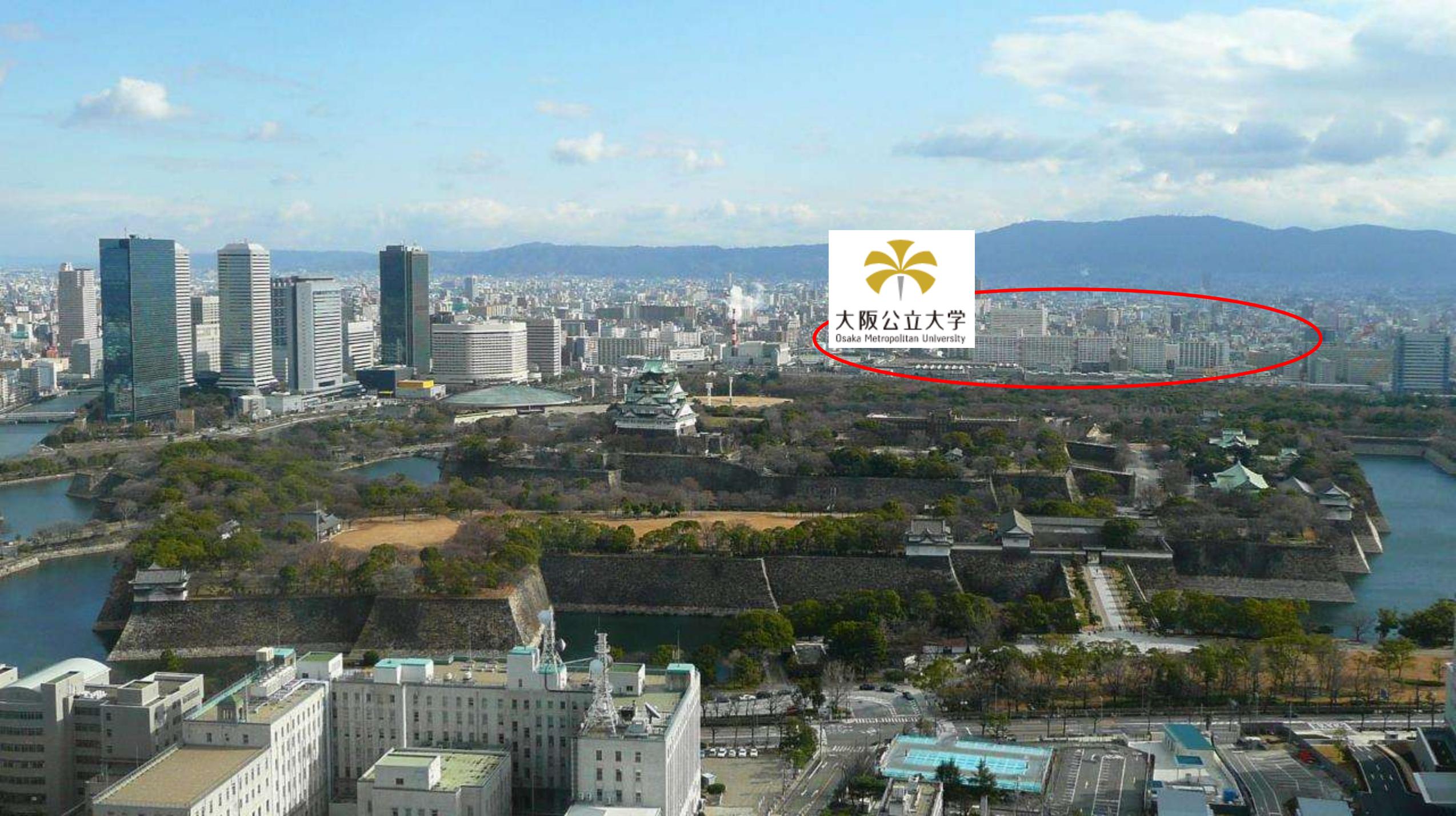
**団地の寺子屋**

@danntinoterakoya · コミュニティ

# 「団地の団樂食堂(だんだん)」

「だんだん食堂」事務局





大阪公立大学  
Osaka Metropolitan University

# 「幼老共生ケアと地域大家族」 「持続可能な地域活動」

- **団地の寺子屋本体活動**

高齢者世代が中心となって

- **団地の団楽食堂（だんだん）プロジェクト**

子育てママたち乳幼児を育てる世代が中心となって

- **もいもい教室プロジェクト**

小・中学生を育てるPTA世代が中心となって

# 2019年5月24日 第1回だんだん食堂開店



# 2・3年次外部団体に協力した「支援物資配布」活動



# 「組織運営会資金調達研修会」の様子



# 理想をカタチに・・・30年後を見すえて

- 1年目：月1回の金曜日に昼食を20食提供、年間10回・200食  
年1回の地域イベントとして地域住民に40食を提供  
広報研修会2回開催
- 2年目：コロナ禍のため食堂事業自粛、外部団体(地域子ども支援ネットワーク)に協力して月1回支援物資配給に協力  
研修事業：広報研修会3回開催
- 3年目：コロナ禍のため食堂事業自粛、支援物資配給活動や、外部団体(NHK歳末助け合い)「こどもひろば」活動に参加しICT機材を整備  
研修事業：組織運営や資金調達を学ぶ研修会を4回開催
- 4年目(令和4年度)：「だんだん食堂・多世代交流サロン」互いの組織の強みを生かし行動力を高めるため合体し自立した地域活動任意団体として新出発

# 今後の展望と課題

1. 子育てママを中心とした組織の危うさ
2. 土日・祝祭日中心の活動形態の大切さ
3. 子どもを中心とした活動で地域の多世代交流を図る  
(まずは定例のお誕生会でおしゃべり会、だんだんと食堂事業へ)

## ▼ 3年間の本事業を振り返ると

3年目はコロナ禍が強く予測されたのだから中心とする事業を果敢に変更すべきだった

今後の事業展望ではコロナ禍の地域活動 への影響を視野に、「食堂事業」と「多世代交流事業」のバランス

バランスの上で新住民「**大学生**」を巻き込んだ「**地域物語**」への夢

# ご清聴ありがとうございました

大阪公立大学森之宮学舎



**「幼老共生ケアと地域大家族・持続可能な地域活動」**  
**「だんだん食堂・多世代交流サロン」**